

■(ジョン)中浜万次郎 子供の時に中漁中に遭難、アメリカで教育されて帰国、日本に英語を広める開拓者の役割を果たした。

なかはままんじろう

日本外史・1827＝ 幡多郡中の浜(現、高知県土佐清水市)の漁師の子に生まれる。

生麦事件・1828＝ 1歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1836＝ 9歳：

大塩平八郎乱1837＝10歳：

天保改革始・1841＝14歳： 出漁中に遭難し無人島の鳥島に漂着、アメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に助けられ、

順天堂始・1843＝16歳： ニューベドフォードに伴われた。

ホイトフィールド船長の好意で3年ほど学校教育を受け、

阿部正弘首座1845＝18歳：

孝明天皇・1846＝19歳： 卒業後再びアメリカの捕鯨船に乗組み長い航海に出た。

・ ・ ・ ・ ・ 1848＝21歳： 人格と手腕が見込まれて一等航海士副船長に選ばれ、

北斎没・1849＝22歳： ニューベドフォードに戻ったのち、

国定忠治疎・1850＝23歳： ゴールドラッシュの町サクラメントで短期間働いて資金をつくり、サンフランシスコを出発。

尊徳報徳論・1851＝24歳： 琉球、鹿兒島を経て、長崎に着いたが、鎖国政策のため、9ヶ月も長崎奉行所の牢に入れられ、

万次郎帰国・1852＝25歳： 領外に出ないことを条件に土佐に帰着した。この万次郎を藩命で調べたのが画家の河田小竜であり、その口述をまとめたのが「漂異紀略」である。別の記録に「漂客談奇」がある。

ペリー来航・1853＝26歳： *土佐藩の武士に取り立てられ、藩校の教授を命じられたが、ペリーが来航したため幕府に御普請役格として登用され、外交文書の翻訳にあたる。中浜万次郎と名のる。「松平土佐守小入万次郎相札書付」。

開国開港・1854＝27歳： 結婚。

蕃書調所・1857＝30歳： 中の浜に母を訪問。幕府、中浜万次郎に捕鯨の伝習を令ずる。「亞米利加合衆国航海学書」訳。

安政の大獄・1859＝32歳： 君沢型壺番御船による捕鯨。「英米対話捷徑」訳。

桜田門外変・1860＝33歳： *咸臨丸での渡米使節に通訳として同行、船酔いで動けない勝海舟に代わって、実質的な船長をつとめ、サンフランコ上陸後は市長らに英語の堪能ぶりを感心される。

生麦事件・1862＝35歳： 妻が病死。

8月18日政変 1863＝36歳： 再び、壺番丸で捕鯨に出る。

禁門の変・1864＝37歳： *鹿兒島の開成所教授に就任。

以後、英語を講じ、外交文書の翻訳や通訳などの仕事を通じて、英語を広める開拓者の役割を果たした。

薩長同盟・1866＝39歳： 中の浜に母を訪問。高知の開成館に赴任。船の買い付けのため上海との間を往復。

大政奉還・1867＝40歳： 鹿兒島の開成所の任期が満了し、江戸に帰る。

明治維新・1868＝41歳： さらに土佐藩に戻ったが、

戊辰戦争終・1869＝42歳： 明治政府より、開成学校教授に任命される。

初の日刊新聞1870＝43歳： 普仏戦争視察団として大山巖らと欧州へ派遣され、途中、アメリカで恩人のホイトフィールドと再会、

廃藩置県・1871＝44歳： *帰国後、軽い脳溢血を起こし、開成学校教授を引退して、以後は静かに暮らす。

学問のすすめ1872＝45歳：

明治6年政変 1873＝46歳： 中の浜に母を訪問。

初の民間工場1875＝48歳： 中の浜に母を訪問。

琉球処分・1879＝52歳： 母が病死。

明治14年政変1881＝54歳：

帝国大学始・1886＝59歳： ホイトフィールド船長死去。

初の対等条約1888＝61歳： 小笠原方面に最後の捕鯨航海に出たと言われる。

帝国憲法発布1889＝62歳：

帝国議会始・1890＝63歳：

日清戦争始・1894＝67歳：

子規句歌革新1898＝71歳： 脳溢血で没した。